

がん看護学領域

構成メンバー

教授 佐藤 正美

准教授 望月 留加

教授 内田 満 教授

2020.3.21 修了生と学長を囲んで
(左端：佐藤，右端：望月)



領域の特長

がん医療は日々発展しているが、患者および家族は診断や治療に伴い身体的苦痛はもちろんのこと、複雑で深い苦悩である全人的苦痛を体験している。治療が終わった後も再発や転移への不安やその後の治療選択など、様々な課題と向き合い生活している。がん患者と家族が望む生活の実現へ向けた看護を探究する力を養う。

がん看護を深く学び研究に取り組む「看護学研究論文コース」と、緩和ケアをサブスペシャリティとするがん看護専門看護師教育課程として認定されている「高度実践研究コース」の2つがある。授業の中でも、今までの臨床経験について意見交換する場面が多々あり、看護実践や考えを振り返ることが貴重な学びの場となっている。

教員の研究テーマ

佐藤正美 教授

- ・直腸がん肛門温存術後の排便障害を抱える患者への看護ケアの開発
- ・調剤薬局において薬剤師と看護師の連携・協同によるがん患者支援

望月留加 准教授

がん患者や家族の生活を支援し、生き方を選択していくプロセスに寄り添うために、セルフマネジメントや心理社会的苦痛に対する支援モデル・評価指標の開発